

経済部文化観光局観光課

1 米子市観光協会事業活動に対する助成

米子市の観光振興を図るため、米子市観光協会の事業活動への助成を行うとともに、その実施について協力した。

(1) 重点事業

ア 皆生温泉魅力づくり事業及び誘客事業

- ・皆生温泉海遊ビーチの開設・運営
- ・皆生温泉魅力UP事業
- ・皆生温泉エリア経営実行委員会への参画

イ 米子グルメ普及促進事業

- ・米子牛骨ラーメンスタンプラリー2025の実施
- ・新まち歩きマップの作成
- ・大阪・関西万博でのとっとり牛骨ラーメンの出店及びPRの実施
- ・米子珈琲時間inナイトタイムレコードの実施

ウ 名探偵コナン鳥取ミステリーツアーへの協力

(2) 継続事業

- ・宣伝対策事業
- ・ホームページ制作事業
- ・皆生温泉ニューツーリズム創造事業
- ・広域連携・観光誘客事業
- ・スポーツ観光推進事業
- ・神話・歴史観光推進事業
- ・共同宣伝事業（二次交通に関する事業）
- ・米子桜まつりの開催
- ・第12回ネギ来まつりの開催
- ・米子城・城下町観光拠点強化事業
- ・看板・印刷物関係事業
- ・指導育成事業
- ・地域活性化対策事業
- ・収益事業の推進
- ・皆生遊歩道清掃事業
- ・観光協会組織の充実
- ・米子市国際観光案内所委託運営
- ・会議・研修会等（協会主催、共催会議のみ）

◇米子市国際観光案内所年間利用状況

宿泊案内	観光案内	交通案内	地理案内	その他	パンフレット	合 計
1 6 7 件	4, 5 1 8 件	5, 4 4 2 件	8 8 7 件	7, 9 0 2 件	5, 0 1 9 件	2 3, 9 3 5 件

2 皆生温泉にぎわい創出事業

皆生温泉旅館組合、鳥取県及び米子市で組織する皆生温泉にぎわい創出事業実行委員会において以下の事業を行った。

(1) ホスピタリティ向上のための取組

当エリアにおける賑わい創出のベースとなる地域資源の保全や立ち寄りスポットの整備を継続的に
行い、観光地としてのホスピタリティの維持向上を図った。

(2) 魅力向上のための取組

温泉や海岸をはじめとする地域資源を活かした行事・イベントを通年展開し、当エリアの魅力を高め、
集客力の底上げを図った。

(3) 誘客促進及び周遊観光拠点化のための取組

国内外のお客様に当エリアの魅力を伝え来訪を促すため、様々なチャンネルで情報発信や宣伝活動を行
うとともに、中長期的な集客力向上を狙った皆生温泉のリブランディングに着手した。

また、当地を訪れるお客様の満足度を高めるため、観光センターにおける情報提供やサービスの充実を
図るとともに、当地ならではの商品を開発～販売することで、山陰を代表する温泉地としての存在感をア
ピールした。

3 皆生温泉エリア経営実行委員会によるまちづくりの推進

皆生温泉関係者、地元金融機関、観光団体、建築デザイナー等で組織する「皆生温泉エリア経営実行委員
会」の事務局として、毎月の実行委員会の運営を行うとともに、持続可能なエリアマネジメントの実現に向
け、以下の事業実施の伴走支援を行った。

(1) 皆生温泉エリア内の空間活用及びエリア価値向上に向けた取組

回遊イベント「ぐるぐるかいけ」を開催し、消費額向上や来街者の滞在促進等、賑わいの創出を図っ
た。また、「皆生温泉まちなみデザイン」に基づき、海岸遊歩道の利活用や景観形成について検討を行っ
た。

(2) 空き不動産への新規出店者誘致・開業支援

未活用物件の調査・検討を行い、特に可能性の高い2物件の改修プランを作成した。また、出店希望者
向けイベント「ぺちゃくちゃかいけ」を開催し、新規出店の機運醸成を図った。

(3) 持続可能なエリアマネジメントに向けた検討

自主財源確保策の調査や重点事業の整理を行うとともに、アクションプランを踏まえ、皆生温泉海岸遊
歩道・四条通り・観光センターを結ぶ「Tライン」を今後の重点エリアとして位置付け、事業の方向性を
検討した。

(4) 情報発信

地域住民向けニュースレター「K A I K E P R E S S」を計4回発行したほか、ポータルサイト「か
いけラボ」やSNSを活用し、活動や地域情報をリアルタイムに発信した。

(HP：36記事、X、Instagram、Facebook：各133投稿)

4 米子市にきないや！観光支援事業

(1) 県外への情報発信

「米子城跡」や「皆生温泉」を中心とした本市観光資源を県外にPRするため、米子市への誘客促進を図る観光特集記事を多様なメディア媒体で掲載し、露出強化を行った。

掲載媒体：じゃらん、楽天トラベル、JR西日本車内中吊りポスター（京阪神エリア在来線）

(2) 米子市観光ガイドブック（ルートヨナゴ）の改訂

米子市総合ガイドブック（ルートヨナゴ）を改訂し、最新の米子市の魅力や観光情報を発信した。

国内で行われるイベントのほか、宿泊施設、米子市国際観光案内所、米子市観光センター、米子空港等に配架し誘客に活用した。

(3) 風評被害対策にかかる観光プロモーション

令和8年1月に発生した地震による風評被害の払拭と観光需要の早期回復を図るため、鳥取県が実施する観光需要回復キャンペーンと連携し、本市観光資源の魅力を発信する観光プロモーションを実施した。

5 米子城跡を活用した観光誘客の推進

(1) SNS広告による情報発信

米子城跡から見えるダイヤモンド大山、オレンジロードの概要及びイベント情報をSNS広告により情報発信し、県内外からの誘客を図った。

(2) 米子城跡周辺まち歩きマップの増刷

米子城跡、ダイヤモンド大山やオレンジロードの紹介、米子駅及び朝日町・角盤町周辺の飲食店が掲載されているまち歩きマップの増刷を行い、宿泊施設や米子市国際観光案内所等に配架し誘客に活用した。

(3) 城下町観光事業者インバウンド受入環境整備の促進

米子城跡や城下町エリアに事業所を有する観光関連事業者等におけるインバウンド受入環境整備を進めるため、多言語対応看板の整備等を実施した事業者に対して費用の3分の2を助成した。

（交付件数：3件、交付金額：382千円）

6 インバウンド対策の推進

米子空港への国際定期路線の就航、クルーズ客船の寄港増加、2025大阪・関西万博開催などの機会を捉えて、訪日外国人観光客を本市に誘客することを目的に以下の事業を実施した。

(1) 韓国人インフルエンサーを活用した情報発信

米子市に韓国人インフルエンサーを招へいし、米子市内（一部米子市外を含む）の観光施設等を巡る2泊3日のファムツアーを実施したのち、ファムツアーで巡った観光施設等を中心に「NAVER Blog」への記事掲載及び「Instagram」への投稿を行うことにより情報発信を行った。

(2) 台湾人インフルエンサーを活用した情報発信

米子市に台湾人インフルエンサーを招へいし、米子市内（一部米子市外を含む）の観光施設等を巡る3泊4日のファムツアーを実施したのち、ファムツアーで巡った観光施設等を中心に訪日客向け情報サイト「LIVE JAPAN」への記事掲載、「Facebook」及び「YouTube」への投稿を行うことにより情報発信を行った。

(3) 台北温泉祭りでの情報発信

10月30日から11月3日まで台北市の北投温泉で開催された「台北温泉祭り（台北温泉季202

5)」に中海・宍道湖・大山圏域市長会、圏域市長会加盟市（境港市、出雲市、安来市）及び皆生温泉旅館組合と共に参加し、皆生温泉としてブース出店することで観光PRを行った。また、台北市温泉関係者との懇談や意見交換による交流促進を図った。

（４）多言語パンフレット作成

訪日外国人観光客の誘客促進及び受入環境整備を目的に、令和６年度に作成した米子市観光ガイドブック（ルートヨナゴ）の改訂版の多言語化を行った。（英語、韓国語、繁体字の３種類）

（５）台湾向けパンフレットの改修・増刷

米子台北便の就航及び２０２５日台観光サミットin鳥取の開催に備え、ファムツアーのため招へいしたインフルエンサー監修の台湾向けパンフレットについて、改修・増刷を行った。

（６）２０２５日台観光サミットin鳥取の開催

米子台北便の就航日となった５月２９日から５月３１日までの期間で日台観光サミット及び関係行事が開催された。米子市ではメインイベントである「日台観光サミット」及び「歓迎晩餐会」が開催されたほか、到着日に、台湾から到着したサミット参加者約８０名を皆生温泉でお迎え・おもてなしを実施し米子市の食文化、観光地等のPRを行った。

（７）国際定期便の利用促進

米子空港と海外を結ぶ国際定期便の米子ソウル便、米子台北便について「国際定期便利用促進協議会」を通じ、路線の利用促進活動を行った。また、境港市と協調して「とっとりマガジン」へ韓国・台湾についての記事投稿を行い、それと共に読者向けキャンペーンを実施することで、アウトバウンド促進を図った。

（８）インバウンド飲食店受入環境整備の促進

市内飲食店のインバウンド受入環境整備を進めるため、多言語対応メニューの整備やホームページリニューアル等を実施する飲食店舗に費用の３分の２を助成した。

また、訪日外国人観光客向け飲食店特設サイトによりインバウンド受入環境の整備が完了している店舗について、周知を図った。

（交付件数：２０件、交付金額：１，６８５千円）

７ 大山山麓・日野川流域観光推進協議会による広域観光の推進

令和７年度は、今後需要が拡大する若しくは成長が期待できる分野、継続して取り組むべき課題解決や広域的な連携などへの選択と集中によって、次の施策を５本柱として事業を展開し、「稼ぐ地域」の形成を通じた持続可能な観光地域づくりを目指した。

（１）サイクリング事業

「大山時間」との連携により、サイクリングツアーを実施した。既存資源の有効活用やツアー実施に必要なノウハウ等が確認でき、今後のツアー造成の基盤が構築できた。

また、県内外のサイクルイベントでの広報により、圏域のサイクル環境の周知や誘客促進に繋がった。

（２）二次交通事業

「観光マイスター」資格を持つドライバーによる観光周遊タクシーは、前年度と同程度の９３４台が利用され、インバウンドの利用が半数以上を占める等、好調であった。

また、令和７年度は新たに２０名を「観光マイスター」に認定し、累計１０１名が観光周遊タクシーのサービス品質の確保に貢献している。

(3) プロモーション事業

ホームページやSNS等を活用した情報発信に加え、声優・中村悠一氏を起用したプロモーションや「MATCHA」による多言語発信、2025大阪・関西万博への出展など、国内外に向けて多角的なプロモーションを展開した。

2025大阪・関西万博では、構成市町村と連携して観光PRを行うとともに、2025大阪・関西万博の来場者など関西方面からの来訪者を対象として、圏域の道の駅や観光施設で利用できるクーポンを計650セット配布し、圏域の周遊促進を図った。

(4) インバウンド誘客事業

訪日外国人観光客にとって魅力的な観光資源の掘り起し、コンテンツのブラッシュアップ及びツアー造成に向けて、海外籍専門人材による現地視察、評価・分析を実施した。

(5) 広域連携事業

「つながるマルシェ」、「日本遺産PR事業」、「刀剣・たたら関連事業」、「酒蔵ツーリズム事業」等、複数の継続事業において地域への定着を図り、民間事業者と連携した取組を推進した。また、民間事業者による観光資源を活用したコンテンツ造成などのモデル的な取組を支援した。

8 米子市、境港市、安来市、松江市、出雲市との連携

5市が構成団体として属する「中海・宍道湖・大山圏域観光局」において、マーケティングリサーチ、インバウンドプロモーション、国内広域観光プロモーション、人口集積地（発地型）誘客プロモーション事業、圏域観光再生支援プログラム、外国人受入環境整備、国内受入環境整備、小泉八雲とセツのテレビドラマ放送を契機とした圏域周遊事業などを実施し、圏域の認知度向上と観光誘客を図った。

9 中海・錦海かわまちづくり計画の推進

「中海・錦海かわまちづくり計画」に基づき、国や県と連携し、米子港の広場整備等を進めた。本市の敷地造成工事の第2工期、便益施設の整備を終了し、敷地造成工事の第3工期を進めた。また、翌年度の供用開始に向け、施設名称を公募により「中海憩いのテラス」に決定し、完成記念セレモニーの準備を国・県と協力して進めた。

10 JR西日本との連携

JR西日本と連携して以下の取組を行い、観光誘客及び認知度向上を図った。

- (1) 「WEST EXPRESS 銀河」の運行に合わせて、米子駅にて、境港市や観光団体と協力して特産品の販売や、観光パンフレット及びノベルティ配布等のおもてなしを実施した。
- (2) 鉄道を活用した県内周遊企画として開催した「名探偵コナンミステリーツアー」の立ち寄りスポットとして市内の協力施設3箇所を設定した。ツアー参加者の3割程度が米子市を訪問し、宿泊を伴う参加者のうち2割が米子市内に宿泊した。
- (3) 全国に12ある「鉄道のまち」の1つとして、てつまちフェス@大宮2026に参加し、JR西日本山陰支社と協力して米子市の観光PRを実施した。

11 米子市観光センターの管理運營業務

- (1) 山陰観光の拠点として、昭和58年4月から利用開始。平成18年度から指定管理者制度を導入し、引き続き皆生温泉旅館組合に管理運營業務を委託している。皆生温泉の観光案内、旅館のあつ旋、各

種集会室の使用許可、バス発着場など観光客及び地域住民の幅広い利用を図った。

(2) 年間利用状況（テナント、広告看板、バス停利用を除く）

ア 観光案内 18,596件（27,352人）

イ 施設利用

区 分	多目的 ホール	会議室	料理 研修室	和 室	第1展示 ホール	第2展示 ホール	第3展示 ホール	合 計
件 数 (件)	422	606	20	271	365	9	11	1,704
人 数 (人)	7,839	6,518	427	1,499	24	113	405	16,825

ウ 米子市観光センター指定管理委託先 皆生温泉旅館組合

指定管理委託料 4,159,000円

1.2 米子コンベンションセンター管理運営業務

(1) 米子コンベンションセンター（国際会議場を含む）を鳥取県と米子市が共同で管理運営を行い、利用者への応接や利便性の向上に努めた。

(2) 年間利用状況

ア 国際会議場利用

集会	展示	音楽	芸能	その他	計
94件	8件	0件	5件	2件	109件

利用日数 223日 稼働率 73.6%

イ 国際会議場指定管理委託先 公益財団法人とっとりコンベンションビューロー

指定管理委託料 68,346,624円

1.3 コンベンションの誘致

本市へのコンベンション誘致を促進するため、(財)とっとりコンベンションビューローに対し、運営費、大会開催支援補助金等の交付を行い、その活動を積極的に支援するとともにその活用を図った。

(大会開催支援補助金交付実績)

件 数	参加者数	延宿泊者数	交 付 額 (米子市負担額)
22件	9,188人	16,799人	16,996,540円 8,498,270円

1.4 「ととのうよなご」サウナツーリズム推進事業

米子市内のサウナ施設（6施設）を紹介するフリーペーパー「K i r a r i T a b i 米子でととのうサウナ旅」の発行・フリーペーパー発行部数（5,000部）

1.5 観光関連団体との連携

日本観光振興協会、山陰観光連盟、鳥取県観光連盟、山陰インバウンド機構等の観光関連団体との連携を密にし、本市観光振興を図った。

1 6 米子市のロゴマークやイメージキャラクターの利活用

(1) 着ぐるみのイベント等への出演や貸出の実施

県内外での各種PRイベント等において、本市の魅力を広く発信することを目的にヨネギーズ着ぐるみ出演（グリーティング）を実施し、市内事業者等が主催するイベントなどにおいて、ヨネギーズの着ぐるみを46回貸し出した。

(2) 印刷物・キャラクターグッズとしての利用

米子市が発行する各種印刷物や職員の名刺や名札に活用したほか、市内外事業者・市民などに62回活用された。

1 7 郷土芸能の保存、育成

米子がいな太鼓、米子がいな万灯の保存、育成を図った。

1 8 大山の美化、遭難防止活動等への協力

大山国立公園協会、大山の美化を推進する会、大山遭難防止協会等を通じて、大山の美化、自然保護等と遭難防止活動に協力した。

1 9 食文化の魅力発信とPR活動の実施

ポスター・チラシ・のぼり等の広報媒体の制作、イベントでのPR活動及び地域おこし協力隊によるSNS発信を実施し、食文化の魅力発信と認知度向上を図った。

2 0 皆生温泉海岸遊歩道滞留拠点化事業

国の交付金を活用し、皆生温泉海岸遊歩道（全長560m）の一部において、居心地の良い滞在空間の創出と公園機能の高付加価値化を目的とした整備を実施した。具体的には、路面舗装の改修、既存設置物の撤去、東屋の新設、オブジェの設置などを行い、安心・安全に利用できる歩行者空間および滞留空間を整備した。

2 1 観光コンテンツ造成支援事業

市内事業者の観光コンテンツの造成を支援するため、事業者に対して観光コンテンツ造成費用の3分の2を助成した。また、市内観光コンテンツPR特設サイトを開設し、サイトの紹介用カードを市内観光関連施設等に配架し、周知を図った。

（交付件数：7件、交付金額：939千円）

2 2 皆生温泉の再生及び活性化に係る連携協定の推進

令和7年9月30日に米子市、皆生温泉旅館組合、関係金融機関など計8者で「皆生温泉の再生及び活性化に係る連携協定」を締結した。持続可能な温泉地づくりに向けた定期的な連絡会や分科会を開催し、官民連携により課題解決に向け取り組んだ。